

第9章 伊豆箱根鉄道駿豆線

第1節 10月7日（土）：修善寺～三島 晴れ

修善寺(12:00)～牧之郷(12:20)～大仁(12:50)～田京(13:50)～伊豆長岡(14:40)～
菫山(12:00)～原木(15:30)～伊豆仁田(16:00)～大場(16:25)～三島二日町(17:15)～
三島田町(17:32)～三島広小路(17:45)～三島(18:05)

本年 20 回目（通算 183 回目）のウォーキングは、平成 18 年 10 月 7 日（土）実施。昨日までの大雨と一転し、好天に恵まれる。それで、朝 6 時過ぎに起床し、急遽、修善寺＝三島間の 19.8Km を思いつき挑戦する。本来ならば、前回の続きである中央本線の富士見からの歩きをやりたいかったのであるが、想定外の天気となりコース変更になった。わいわい会で三島＝函南間を通じ、三島＝大場（だいば）は踏破済みであるが、三島広小路等の駅を写真に収めておらず、再度歩き直すことにした。次男坊が私の愛用のカメラを仕事で持って行ったままなので、急遽インスタントカメラ 25 枚撮り（1,029 円）で代用する。



修善寺駅

朝セブンの散歩を済ませての歩きとなったため、自宅を 9 時前に出て、南林間 9 時 2 分発の電車で電車を数本乗り継いで、三島には 11 時頃到着。乗り継ぎが悪く、JR 三島駅に電車が到着するや否や、青い電車の伊豆箱根鉄道駿豆線（単線）が発車する。改札口で精算する。料金は藤沢から三島までが 1,110 円、三島から修善寺までが 500 円で、伊豆急線に比べ割安感があった。この時間帯は 1 時間に 3 本程度で、今度の発車時刻は 11 時 20 分であった。車両は 3 両編成で、私が乗った車両は特急電車の座席形態であり、一列 4 人掛けのボックスの格好もできた。駿豆線は 20 年前に企画調査連絡会（情報交換会）の総会等で二度来たことがある。このときはラフォーレ修善寺と伊豆長岡に宿泊した記憶がある。当時ゴルフはできず、麻雀大会でその分代用した記憶がある。しかし、電車からの風景は全く記憶が消滅していた。駿豆線は概ね平野部分を走っていた。線路の両脇には山があったが、かなり遠くにあった。大きな川もなく、本日のコースは優しく感じた。田園では黄金色した稲があった。海岸線と山間の伊豆急線と比べれば対照的であった。単線のため、

途中三島田町、大場、伊豆長岡それから牧之郷（ごう）で離合する。所要時間は 32 分であった。途中温泉として、伊豆長岡温泉、葦山温泉、大仁温泉があった。



狩野川



牧之郷駅

12 時前に修善寺に到着。駅を降りるや売店（土産屋）があった。トイレはこの売店を通り抜けた先にあった。駅前にはラフォーレ修善寺行きのバスもあった。12 時 5 分、県道 80 号線（熱海大仁線）の伊豆市柏久保踏切を通過し、鉄道の左側に出る。右には伊豆箱根鉄道、左には狩野川（河口より 27Km）があった。昨日の大雨もあり、50m 位ある川幅から



大仁駅への路

勢いよく水が流れていた。12 時 20 分、駅舎のない牧之郷到着。12 時 40 分、伊豆市から伊豆の国市となる。この市も大仁町や伊豆長岡町で合併した市か。それにしても地図と異なる地名が非常に多い。12 時 41 分、白坂踏切を越え鉄道の右側に出る。12 時 50 分、大仁駅に到着。大仁近郊には 10 年前に一度ゴルフで来たことがある。駅前の味のつがるで遅い昼



大仁駅



印象的な山

食を摂る。大衆食堂風の店で、一人先客がいた。半チャハンとラーメンセットが美味しかった。13時5分この店を出る。線路に沿って歩く。線路のある左手側先には印象的な断崖の山があった。東海道線の新所原駅近郊でも同じような山があった。13時15分、線路沿いの向こうから十数人の人が神輿を引いた行列に鉢合わせする。沢山の人が群がっていた。聞くとところによると、吉田神社の礼大祭とのこと。祭りの場面に出くわすのは本年2回目で、伊東線の来宮駅前の祭り以来である。



礼大祭

田京駅

13時50分、伊豆の国市役所前を通り、少し行き過ぎた踏切を横断した先に田京駅があった。田京踏切を越え、再度鉄道の左側に出る。14時15分、宗光寺（そうこうじ）橋を通過。前方に雲のかかった富士を見る。左手には川、右手は鉄道。その上には鉄道に沿って道路があった。14時40分、青の活字が印象的は伊豆長岡駅に到着。駅前には伊豆箱根鉄道総合



雲のかかった富士

伊豆長岡駅

案内所があった。ホテルサンバレーや京急ホテルのマイクロバスが止まっていたが、残念ながら温泉町という感じはしなかった。少し行った先に花嫁衣裳七福があった。15時、静岡県立東部養護学校前を通過。道路を挟んで伊豆医療福祉センターがあった。残念ながら、本日唯一韮山駅を通り過ぎる。時間から判断するとこの近郊に韮山駅があったと思われる。この近郊には黄金色になった稲の水田が続いていた。その背後に本線しか見られないような穏やかな長細い山が続いていた。15時30分、原木駅に到着。15時45分、来光川（蛇ヶ



平坦な山

原木駅

橋)を通過。万歩計で測定すると 93 歩であった。橋を越えた先には昨日開店したユニクロの店があった。店の斜め前には交通安全を祈願した 6m 位の高さの観音像があった。沢山の車が駐車場に向かっていて、16 時、伊豆仁田駅に到着。16 時 25 分、大場駅に到着。辺り



伊豆仁田駅

大場駅

は少し暗くなりつつあった。フラッシュを本日はじめてたく。遠くには山の上にある函南の住宅が見えた。16 時 30 分、伊豆箱根鉄道(株)本社前を通過。車庫があった。わいわい会でここからは歩いた道筋となる。しかし、方向を逆にすると別ルートになった。16 時 50 分、遠くに富士山が見える古川橋を渡る。ここで、高校の後輩から携帯電話が入る。本日 3 度目である。一度目は朝の電車の中、二度目は伊豆長岡近郊。携帯は便利、二十数年前はこのような文明が発達するとは想定しなかった。また、パソコンもそうである。今では必需品となっている。辺りは益々暗くなり始める。



二日町駅

田町駅

17時10分二日町踏切を越え、17時15分三島二日町駅に着く。17時22分、開眼と似た漢字をした間眼神社前を通過。17時32分、駅前がゆったりした三島田町駅に着く。この時間になると辺りは日没状態となる。それにしても大場駅以降は幹線道路と鉄道が並行していないため、油断するととんでもない方向に行くリスクがあった。辺りは薄暗かったのでそのリスクは倍増した。ただ、6月にこの近郊を歩いたという自信が私を支えてくれた。17時40分、本日2度目の七福（飲み屋）前を通過。第六感が三島広小路駅の方面に向かわせてくれ、迷うことなく、人に聞くことなく、17時45分三島広小路駅に到着できる。辺りは真っ暗であった。数人の人に聞き、フコク生命前を18時通過。楽寿園の先の左手斜め前に三島駅があった。18時5分の到着であった。運良く、18時17分発の東京駅行きに乗れて自宅へ。自宅には20時20分到着。本日の万歩計は37,998歩だった。午後からのスタートとなったが、予定通り、修善寺＝三島間を一気に歩いて充実した一日となった。



広小路駅

三島駅

第2節 第30回わいわい会

～伊豆箱根鉄道駿豆線（大場＝大仁）～

記念すべき第30回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）は、下記の予定で開催する。

① 1日目：平成20年6月14日（土）

10時30分大場駅に集合し、修善寺駅までの駿豆線 14.3km つたい歩き（大場→伊豆仁田→原水→^{だしば}菫山→伊豆長岡→田京→大仁 →^{しげつ}牧之郷→修善寺）
修善寺温泉指月荘で宿泊

② 2日目：6月15日（日）

修善寺散策



指月荘のパンフレット

本日は5時前に起床し、愛犬セブンを散歩させる。わいわい会の時は遠足気分とお天気が気になり余り熟睡できないことが多い。それで本日も予定より30分程早く起きることとなる。空を確認したところ雲ひとつない天気ではっきりとする。家内に南林間駅まで送ってもらう。予定ではJR藤沢駅発8時29分の電車のところ、8時5分の小田原泊まりの電車で熱海駅へ。小田原からは特急車両の伊東行きで熱海まで移動する。熱海駅で小田急線利用の藤田さんと大崎さんに出会う。藤田さんは新宿からロマンスカーを利用されたとのこと。熱海駅には当初からの予定時刻の9時30分に到着となる。

指月荘で初めて気づいたのであるが、8時過ぎに岩手・宮城内陸地震（マグチュード7.2）の大惨事のニュースがあった。被災地に心からお悔やみ申し上げる次第である。

三島駅で西田さん、宇賀神さんそれから新幹線利用の寺西さんに出会う。坂本さんは同じ電車であったが、一足先に三島駅に到着されていた。JR 東海の三島駅でパスモが使用できないので精算に手間取る。すなわち、JR 線である藤沢～三島を一旦現金で精算し JR 線を出て、駿豆線の三島駅で大場までの切符を購入するという事態となる。寺西さんと大崎さんのボックス席に私がご一緒させてもらう。修善寺駅から 5.5km 先にある大場には 10 分程度で到着。7 名が一斉に 10 時 13 分到着。

久米さんが一足先に大場でお待ちになり、我々を出迎えて頂く。谷本さんが 1 本遅れてお見えになる。本日子定の山下さんがお見えになるかも知れないと考え、10 時 40 分の電車まで待つことにする。しかし、誰もお見えにならず。待ち時間を利用し、私の減量に久米さんが驚く。病気ではないかと心配される。「半年位で 15 kg も痩せるのはおかしい」と。「通常は 1 年間で 3kg 程度」と。食事療法や運動等色々ご説明し、やっと納得いただく。



大場駅 ウォーキング開始

10 時 40 分、本日参加メンバーに挨拶し、記念写真を女子学生に撮っていただき、修善寺に向かって出発する。本日は神奈川では快晴であったが、三島からはうす曇がちとなり、ウォーキングにとっては最高の日和となった。11 時 58 分、道路の影で涼んでいる鳩の群れに出会う。寺西さんや藤田さん等に先導いただく。2 年前、駿豆線踏破の際唯一クリアできなかった菰山駅には 12 時到着。駅前のひよしや（コーヒ&スナック）で昼食とする。数人の先客がいた。色んなメニューがあったが、カレー・焼そば・野菜炒め定食の 3 種類で落ち着く。効率的な注文ということでママに感謝いただく。1 時間位ビールを飲みながら歓談する。久米さんと西田さんは伊豆長岡でアップしたいとのことであったが、伊豆長岡から 2.8km 先の田京駅まで頑張ってもらうことにする。



菫山駅

ひよしや

ひよしやを出た先に菫山時代劇場（13時13分）があった。13時20分、北条踏切があった。左にはなだらかな山が続いていた。物知り博士の谷本さんのお話によると、このなだらかな山は老齢で、壮年の山は尖った山とのことであった。このお話は私の記憶と逆であり、大変な勉強となった。13時55分、何回かの袋小路を経由して伊豆長岡駅に到着。駅前には土産屋があった。この駅から田京駅にかけて狩野川の土手を歩く。坂本さんとこれまで歩いたわいわい会の思い出等を話題にしながら歩く。特に坂本さんが初参加された荒川線について鮮明に記憶されていたのでびっくりした。男性4名（山田・坂本・桑島・檜原）、女性4名（鶴巻・片岡・平尾・宇賀神）のメンバーを忘れることなく覚えておられた。狩野川沿いを離れた先に、昭和33年9月26日の台風22号で洪水となった「狩野川台風洪水位」（14時40分）があった。道路から3m位水嵩をマークした碑があった。少し行った先に寒神社がある。道路沿いを真っ直ぐ行った先に田京駅（14時50分）があった。ここで、久米さん、西田さんそれから坂本さんがアップする。



北条踏切

狩野川台風洪水位碑

先客のメンバーに2次会用の焼酎とつまみをお願いします。ここからは6名のメンバーによる歩きとなる。田京駅から2.4km先の大仁駅には15時30分到着する。修善寺まで

3.2km と迫ったが、時間の関係等で皆さんの意向をお尋ねし、私達 6 名も大仁駅でアップする。それなりの汗をかく。15 時 43 分の電車で修善寺にある指月荘^{しげつ}を目指す。電車に乗って 5 分程度で到着。修善寺駅から修善寺温泉行きのバスに乗る。本日の営業キロは 11.1km（田京までは 8.7km）、指月荘までの万歩計は 29,736 歩だった。



本日宿泊する指月荘は、修善寺温泉の中央部にあり、赤い橋である渡月橋を渡った先を少し行くとあった。旅館は坂に面した木造の趣きのある建物で、路地を挟んであった。左側にロビー等、右側に宿泊する施設があった。両者は地下通路で繋がっていた。近くには指月殿や源頼家の墓があった。旅館には 16 時 22 分に到着。田京駅でアップした坂本さん、久米さん、西田さんが 15 分位前に到着したとのことであった。ロビーでお絞りを頂き、部屋の方に案内される。3 部屋を与えられる。部屋割りは次の通り。

- ① 久米さん、西田さん、宇賀神さん（1 階）
- ② 寺西さん、藤田さん、大崎さん（1 階）
- ③ 木内さん、坂本さん、谷本さん、樫原（2 階：幹事部屋）

部屋に入るや、先客の坂本さんが居られた。お茶を頂いてテレビをつけたところ、岩手・宮城内陸地震のニュースが放映されていた。阪神大地震と同じ位の大地震で驚く。暫くテレビに釘付けとなる。ダイヤが乱れているとの情報を得たので、本日横浜の結婚式場から万障繰り合わせの上ご出席下さる木内先輩に現在位置等を 17 時 19 分確認する。熱海とのことでほっとする。木内さんと何回か携帯でやりとりする。暫く谷本さんと歓談して 1 階にある温泉に行く。湯船には坂本さんがおられ、先程の悲惨な地震を中心にここでも色々世間話をする。カラスの行水で一足先に湯船を出る。冷蔵庫は部屋ごとにあったが、中は全くの空であった。それで谷本さんが近くの店まで行かれ麦焼酎（いい

ちこ) とつまみを用意されていた。風呂上りにいただく。大崎先輩や風呂上りの坂本さんと4名で大宴会前に軽く飲む。



大宴会

18時20分頃、宴会が用意できた旨の電話がある。宴会はロビーの棟の2階にあった。仕切りをしており、我々10名のほかに一組の若い夫婦が居られた。ほぼ貸し切りの状態であった。大宴会前に女将から会場前で「足が痛いので立ったままで失礼します。本日は指月荘をご利用いただき誠にありがとうございます」と丁寧な挨拶があり。美味しそうな料理10人分のお膳が並べられていた。全部食べれば3,000kcalはいきそうであった。それゆえチョイスに神経を費やすかも知れないと思い、お膳前に座る。木内さんは定刻の18時半にはお見えになっていなかったが、予定通り寺西先輩の音頭で大宴会のスタートとなる。木内さんは10分位遅れてお見えになる。浴衣に着替えられた木内さんがお見えになったところで、集合写真を撮り乾杯する。本日前回の下部温泉のようなカラオケによる余興はなかったが、新顔の久米さんや西田さんのご臨席もあり話はずむ。酩酊する前に来年宿泊する場所を女性陣にお尋ねする。箱根・熱海・館山寺温泉等の候補がでる。結局私が案を考え、遅くとも次回にお持ちする段取りとなる。宴会は21時前まで続く。坂本さんはお疲れのため、少し早目に切り上げられる。

2次会は2階の幹事部屋で行う。久米さん、西田さん、寺西さん、藤田さん、大崎さん、宇賀神さんと幹事部屋に続々お見えになる。隣の部屋から坂本さんのいびきを聞きながら、宴会での残りの純、それからいいちこ、宮崎の芋焼酎と飲みあかす。23時過ぎまで坂本さん以外9名で楽しい歓談が続く。それ以後は順次流れ解散となる。最終組は幹事会の役員メンバーである木内さん、谷本さん、宇賀神さん、檜原の4名となり、深夜0時半頃まで歓談が続く。本日泊まり初参加の浴衣姿の久米さんと西田さんはリラ

ックスされた感じであった。お二人には私の約半年で 15kg 減量に関する話に変な興味を示して頂く。この話により、当初私の健康に関し心配下さった久米さんには私の減量に関し納得頂く。「意志が強いよね」と。また、久米さんから「沢山キャベツ等の生野菜を食べ、ごはんは最後にするのね。お腹が空くとキャベツ等を食べるのね」との復唱あり。木内先輩や宇賀神さんに、将来本を書くとしたら次の3つでどれがヒットするかについても意見を聞かせて頂く。

- ① 鉄道道つたい歩きの実記録
- ② 減量方法とその後の効果
- ③ 仕事・趣味・減量の複合

いずれにしてもヒットするには読者の興味をそそる工夫が必要で、この件は幕を閉じる。そのほか幹事会や同好会の運営等の話題もでる。乾き物を食べながらの酒は愉快でリラックスでき楽しい。本日はかなりのカロリーオーバーも止むを得ず。実に充実した2次会であった。



虎溪橋 指月荘前

翌日の6月15日(日)もうす曇で最高の観光日和となった。6時前に目が覚め朝風呂に入る。私が一番風呂のようであった。湯船から透き通るような温泉が浴場にあふれていた。10分程度熱い温泉につかりロビーに向かう。朝の食事開始時間と費用の確認、それから本日の観光コースをお伺いするためである。女将のお勧めは指月荘からバスに乗った先の虹の郷であった。本日の指月荘宿泊精算書をお見せすると入園料の割引(1,000円が600円)があるとのことであった。ロビー前の通路で朝風呂に向かう久米さんと西田さんにもお会いする。用事を済ませたあとロビーで朝日新聞朝刊を読ませて

いただく。昨日の岩手・宮城内陸地震の大惨事記事が前面に掲載されていた。この結果、楽天 VS 巨人戦も中止になったとあった。10 年位前、台風の影響で東京ドームの試合が中止になったことが昨日のように思い出された。

朝食も昨日の宴会が行なわれた部屋で「8 時より開始」との電話が 5 分前にアナウンスあり。昨日の会場の仕切り手前には、若いカップルが一組いた。奥の会場には朝からあっさりしたメニューのご馳走が並べられていた。一人コップに 2 杯程度あたるよう中瓶ビール三本注文する。食事をしながら、本日のコース説明と次回の泊まり計画について次の通りお話しする。なお、泊まり計画は、昨日の 2 次会等を通じ谷本・宇賀神両副幹事のご協力を得て骨子を策定したものである。

① 本日のコース

指月殿→源頼家の墓→修禅寺→日枝神社→虹の郷

② 平成 21 年宿泊プラン骨子（第 35 回わいわい会）

来年の宿泊は、青春 18 きっぷ活用のため、本年のように 6 月ではなく、9 月 5 日（土）～6 日（日）とする。宿泊先は浜名湖畔の館山寺温泉を開催予定とする。首都圏からの出発時間は今回と同じダイヤの時間帯で企画する。従って来年の 6 月は日帰りとする。



指月殿

修禅寺

坂本さんは午後から地元の寄り合いがあるとのことで、朝食後本日のイベントに参加せず帰宅する。9 時 30 分、ロビーに集合する。この旅館の玄関先には昼食メニューの蕎麦関連が並べられていた。この陳列した台を移動させ、指月荘玄関先での集合写真を女将さんに撮ってもらいこの旅館をあとにする。旅館は路地に沿って長く続いていた。

皆で昨日宿泊した箇所はこの辺りと言いながら、坂道を上り指月殿（9時35分）に向かう。隣には源頼家の墓があった。谷本博士によると、頼家は祖父の北条時政に殺害されたとのこと。9時50分、赤い渡月橋を渡り修禅寺を参拝する。10時00分、日枝神社も参拝する。大きな子宝の杉があった。若い女性がこの杉前で撮影していた。10時5分頃修善寺温泉バス停に移動し、10時13分発虹の郷行きのバスに乗る。現地の虹の郷には7~8分で到着する。バスは大回りしてゲートにつく。受付で指月荘の宿泊領収書を見せる。1,000円のところが600円となる。



虎溪橋

日枝神社

虹の郷には10時20分入る。ここで12時まで自由時間とする。男性6名と女性3名が別行動となる。虹の郷は、カナダ村、フェアリーガーデン、日本庭園、伊豆の村、匠の村、イギリス村からなる。園内をロムニー鉄道とロムニーバスが走る。料金は片道大人400円、小人200円である。我々男性陣は日本庭園やカナダ村を中心に散策する。花しょうぶが見頃を向かえていた。園内には至る所に種々の売店があった。寺西さん、藤田さん、それから私らは家内の土産に花の刺繍のTシャツを購入する。寺西さんは修善寺名物の椎茸も購入していた。カナダ村の売店で小休止。希望者はバラのソフトクリームを食べる。ロムニー鉄道のネルソン駅には11時35分到着。その先にトーテンポールの熊の勇者があった。この前で記念写真を撮る。11時50分頃出入り口前に到着。女性陣も程同時刻に到着。宇賀神さんによると、3人でロムニー鉄道に乗り、虹の郷内を観光したとのことであった。11時55分公園を出て、12時の東海バスに乗る。修善寺駅には12時15分到着。修善寺駅前の蕎麦屋で木内副会長のご好意により昼食をご馳走にな

る。ここで解散となる。駅前の売店で各自お土産を購入し、修善寺駅 12 時 59 分発の電車で自宅へ。私は 16 時 5 分自宅に到着。万歩計は 13,825 歩だった。やっと第 30 回わいわい会が無事終了しほっとする。今回の歩きで営業キロ 4,500km を突破できる記念大会にもなり、わいわい会の各位に感謝する次第であった。



熊の勇者前

虹の郷切符

